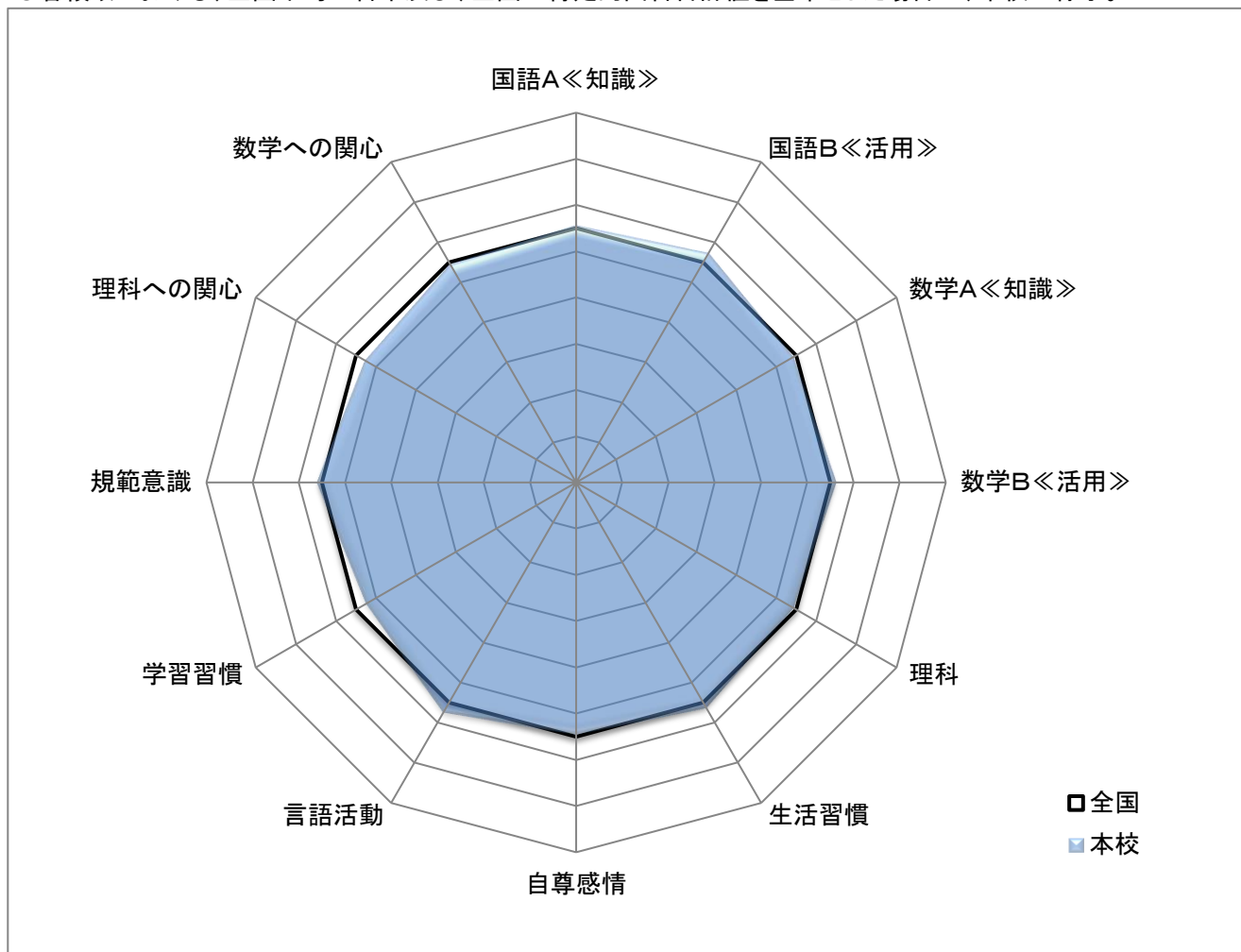


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・生徒は落ち着いて授業を受けています。その雰囲気は、朝礼や避難訓練に整然と集合する様子からも知ることが出来ます。さらに、春の運動会や秋の学芸発表会においては、生徒一人ひとりが、一丸となって取り組む姿としても現れています。
- ・生徒質問紙調査から、全国平均より家庭でのテレビ、ビデオ、DVD、ゲーム、インターネットをする時間が多い傾向にあり、家庭学習の充実が求められています。

《授業改善のポイント》

- ・規範意識が高いことから、落ち着いた授業が行うことが出来る安定した教育環境です。その落ち着いた授業の中で、知識・理解の質を高め資質や能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を目指します。そのためには、授業の創意工夫や教科書等、教材の改善をしていくことが、求められます。
- ・基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力からなるより良く問題を解決する能力を確実に身に付けさせるため、「授業のねらい」を絞り、生徒に「わかった」「できた」という実感をもたせられるように、指導方法を組み立てていくことが求められます。

《チャートの特徴》

「国語A主として知識」「国語B主として活用」「数学B主として活用」については、全国平均を上回り、確かな学力の定着が読み取れます。また、「数学A主として知識」「理科」については、全国平均を若干下回っています。なお、「規範意識」「言語活動」「自尊感情」「生活習慣」では全国平均を上回っているのが特徴です。ただし、「学習習慣」の値が低いことからその充実が求められています。

《家庭・地域への働きかけ》

「瑞三文武両道8か条」を策定しています。

- ①しっかりと朝食を摂る。
- ②決まった時間に排便する。
- ③余裕をもって登校する。
- ④授業に集中する。
- ⑤適度に運動する。
- ⑥毎日2時間勉強する。
- ⑦毎日お風呂に入る。
- ⑧しっかりと睡眠をとる。を守ることを働きかけています。